

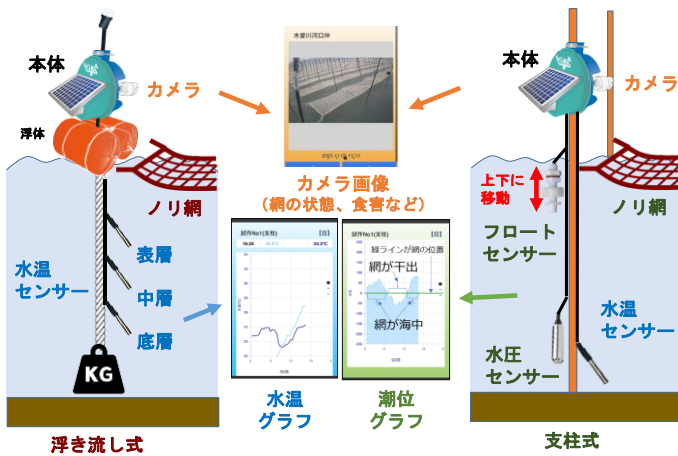
# IoT技術を活用した新たなノリ養殖支援システムの構築

ノリ養殖は、気象や海況によって生産状況が大きく左右されるため、漁場環境の変化を養殖業者が正確かつ迅速に把握しながら集団で管理を行うことが安定生産のカギとなります。

独立行政法人国立高等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学校及び株式会社アイエスイーと共同で、IoT技術によってノリの養殖管理に役立つ漁場環境データ(水温、潮位など)をリアルタイムでモニタリングし、養殖業者がスマートフォンなどで情報を確認できるシステムを開発しました。また、実際に漁場でノリ養殖管理に活用されました。

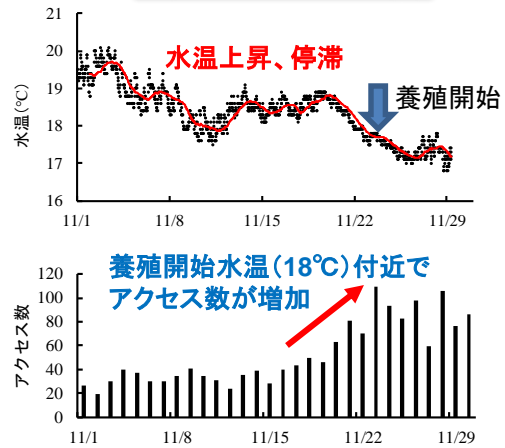
## (1) ノリ漁場へのIoT観測機器の設置例

浮き流し式、支柱式の設置が可能



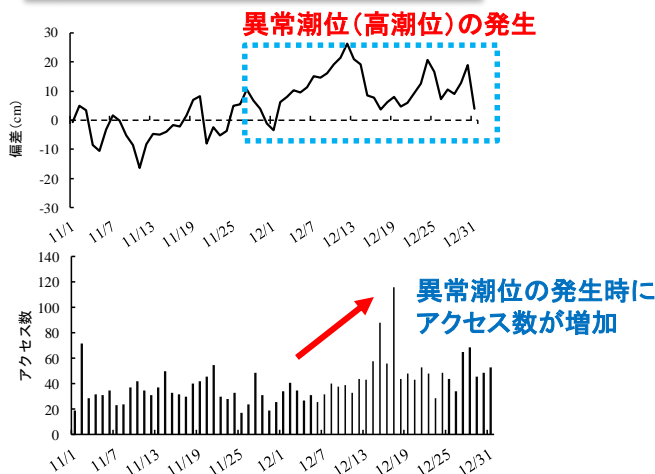
## (2) 浮き流し漁場での活用事例

養殖開始日の決定



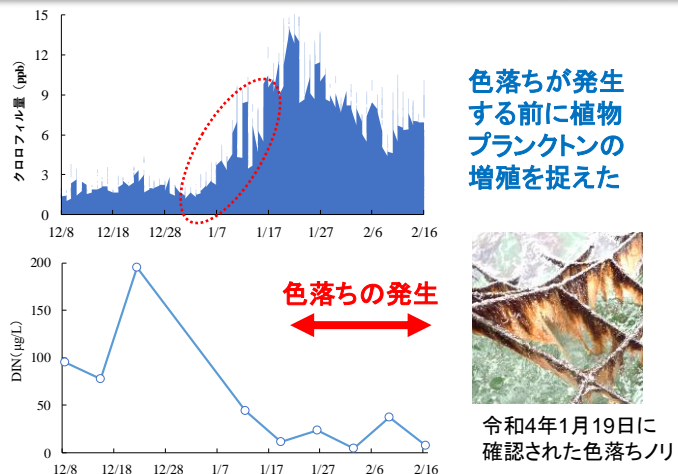
## (3) 支柱漁場での活用事例

異常潮位の把握(網高の調整)



## (4) その他の期待される活用方法

クロロフィルのモニタリング(色落予察の可能性)



三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒510-0243 鈴鹿市白子1丁目6277-4

TEL (059)386-0163

FAX(059)386-5812